

【NEWS RELEASE】

2020年9月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

テクノプロ・ホールディングス株式会社に「ポジティブ・インパクト金融原則適合型
ESG/SDGs評価シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、テクノプロ・ホールディングス株式会社（代表取締役社長：西尾 保示）に対し、「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価シンジケーション」としてシンジケート・ローン（ 1 ）を組成いたしました。

「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価シンジケーション」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG（ 2 ）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（ 3 ）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただき融資商品です。

企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした、ポジティブ・インパクト金融原則（ 4 ）及びモデル・フレームワーク（資金用途を特定しない企業向け金融商品）に適合した融資商品として、三井住友銀行が第三者認証機関である DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（代表取締役社長：前田 直樹）よりセカンド・オピニオンを取得しております（ 5 ）。本件は、国内人材サービス業界では初のポジティブ・インパクト金融による融資契約締結となります。

今回のテクノプロ・ホールディングス株式会社に対する評価結果は、「サステナビリティマネジメント」、「従業員への配慮」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好な ESG 側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じた SDGs 達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG 配慮及び SDGs 達成への取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

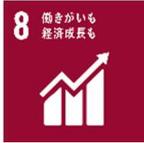
E：自社の事業活動に伴う主な環境負荷として、CO2 排出量等を把握し、環境管理指標として、「売上高当たり CO2 排出量」等を設定・算出しておられる点。

S：従業員（派遣技術者含む）に対して、「従業員の人材育成と活躍機会の最大化」「技術人材不足の解消とイノベーションの促進」「働きがいと従業員満足度の追求」「すべての人への学びの提供」「人材多様性と機会平等の実現」という方針を明確にし、やりがいをもって働きやすい環境づくりや女性・障がい者・高齢者の活躍推進に取り組んでおられる点。人材育成を重視し、教育研修受講者数や実務未経験分野の長期トレーニング受講者数等の増加に向けた数値目標を設定しておられる点。

G:経営トップが、高度化人材の不足や ICT 技術革新への対応不足等を社会的課題として捉え、ビジネスを通じてこれらの課題解決に取り組むことを明確に宣言しておられる点。持続的な成長に向けて優先的に取り組むべき経営上の重要課題（マテリアリティ）を特定し、取組の進捗管理を着実にを行うため、「すべての人の可能性を伸ばす」「技術力で社会に貢献する」「信頼されるパートナーである」「持続的に成長する企業である」の 4 つのテーマ毎に定量指標（KPI）を設定しておられる点。

SDGs: 持続可能な社会の実現に向けて、グループのマテリアリティと関連する、教育、不平等の是正、技術革新などを通して、人類の持続的発展に貢献することを宣言し、統合報告書の「価値創造」のプロセスの中で、グループが創出する社会的価値として、「技術人材へのフレキシブルな活躍機会の提供」「すべての人への学びの提供」等を掲げ、関連する SDGs として目標 4、5、8、9 を示しておられる点。

また、「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価シンジケーション」における、テクノプロ・ホールディングス株式会社が意図する、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトとして、以下の重点取り組み項目・評価指標が設定されています。テクノプロ・ホールディングス株式会社は、DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社よりポジティブ・インパクト金融原則への適合を確認する書簡を取得しております（ 6 ）。

	重点取組項目	評価指標	貢献する主な SDGs
	従業員の人材育成と活躍機会の最大化	教育研修受講状況（受講者延べ人数または受講時間）	
	働きがいと従業員満足度の追求	従業員満足度	
	人材多様性と機会平等の実現	女性採用率	

三井住友銀行では、「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価シンジケーション」により、お客さまの ESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。

以 上

<ご参考>

1 参加金融機関（融資金額順）

<融資契約 >

株式会社三井住友銀行、株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社東京スター銀行、株式会社りそな銀行、三井住友信託銀行株式会社、他 1 金融機関

<融資契約 >

株式会社中国銀行、株式会社池田泉州銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社千葉銀行、株式会社中京銀行、株式会社広島銀行、株式会社北洋銀行、株式会社山梨中央銀行、株式会社百十四銀行、株式会社八十二銀行

2 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

3 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことで。

4 ポジティブ・インパクト金融原則とは

SDGsの達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017 年 1 月に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の 4 つの原則で構成されています。

5 2020 年 9 月 30 日 三井住友銀行ニュースリリース参照

<https://www.smbc.co.jp/news/>

6 2020 年 9 月 30 日 DNV GL ニュースリリース参照

<https://www.dnvgl.jp/news/page-185749>

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。